

明智から世界へ。皆さんの大先輩である三宅信行さんが人生を通して学んだこと、そして、そこで得た教訓をお話しいただきました。世界から見た日本、東京から見た東海圏、岐阜から見た東濃。グローバルに活躍されて来られた三宅さんだからこそ、今の多北生に伝えたいことがありました。人生の中で出会った2人の師。自分の未来を切り開くための一歩。他国の人との繋がりから得た新しい価値観。グローバルへと動く世界情勢の中で必要とされる本当の意味でのダイバーシティという考え方。50分間がとても短く感じました。

日時 10月21日(水) 15:45~16:35

参加者 全学年希望者 14名

場所 本館会議室

講師 三宅 信行氏

略歴) 多治見北高校 卒業(柔道部 小栗校長先生の先輩!)  
京都大学 農学部 卒業(アメフト部所属)  
丸紅株式会社 35年間勤務(6カ国駐在)  
日産自動車部品メーカー 3年間勤務

#### 講演内容)

小栗校長先生と一緒に柔道をしていた北高柔道部の卒業生。商社マンとして、6か国に海外駐在されたこと、アメリカ、ドイツの会社に出向された経験から、後輩の皆さんの進路を考える参考としてグローバルに働いた経験談をお話しいただきました。

#### ○セミナーの様子





## ○参加生徒の感想

- ・入学当初から「将来の目標を見つけて、国立大学に進学しよう」と決めていました。ですが、時々「高いレベルの国立大学に行って、何の意味があるのだろうか」「大企業に入ってどんな良いことがあるんだろう」と感じることもありましたが、今回のお話を聞いて、「そのような所に身を置くことで、人との出会いがあり、自分の将来の幅・可能性が広がっていく」ということがわかり安心しました。
- ・私は高校進学の際、2つの高校の選択で悩みました。その際、今回の三宅さんのように「多北のほうが、いろんな人と関われるのではないか」と思って多北にしたことを思い出しました。高校の勉強は人生のベースになるので、これから頑張っていきたいです。
- ・期待を裏切る挫折・失敗も今後の生活・仕事に役立つ経験になるので、失敗を恐れず挑戦したいです。とにかく一番は「コミュニケーション」だと感じました。
- ・チャンスがあったら迷わずに行動に移せるようになりたいと思いました。
- ・挫折は良い体験、大人になってから生きてくる。また、尊敬できる人は必ずいると思いました。自分も英語が苦手だけれど、尻込みせずいろんな人とコミュニケーションをとっていきたくてと思いました。